

押し相撲を極めた先に、十両を見据える

大相撲・阿武松部屋入門

桑原英男 さん

くわばり・ひでお 18歳



平成13年生まれ。滝沢市出身。両親、姉の4人家族で、実家は和牛繁殖農家。柳沢小・中を卒業後、平館高に入学。好きな食べ物はおはんで、高校時代は下宿を共にした仲間と2人で毎日1升を平らげていた。稽古がない休日は温泉に行ったり、寝たりとのんびり過ごす。身長175㎝、体重165㎏。

6月の夕暮れ、平館高相撲場に同校をこの4月に卒業した桑原英男さんの姿があった。当初5月場所にデビューの予定だったが、新型コロナウイルスの影響で新弟子検査も延期となり、寺田道場の稽古で汗を流していた。

高校では全国高総体と国体に3年連続で出場した。高校3年の東北高校相撲選手権大会で、個人・団体ともに2位の成績を残すも、全国大会での成績が振るわず大学進学を断念。実家を継ぐことを考えていたが、角界入りをあきらめきれずに挑戦を決意した。

相撲は小学2年の時、地元の相撲大会に出場したことがきっかけで始めた。中学卒業までの8年間、滝沢相撲クラブに所属。高校進学を悩んでいた時に、同校相撲部コーチで寺田道場の監督を務める遠藤良貴さんの誘いで入学を決めた。遠藤さん宅に下宿して



鉄砲柱に突っ張りをする桑原さん。「バシンッ、バシンッ」と重い音が繰り返し相撲場に響く

いた高校時代を振り返り「料理がおいしくて、相撲以外にも、あいさつや返事など人として大切なことを教えてもらった」と感謝を示す。

小さな体ながら、どっしりとした前への突き押しを得意とする同部屋の阿武咲と大関貴景勝の取り組みを参考にしている。「大相撲の世界では、これまでのようにまわしは取らせてもらえない。まずは押し相撲を極めたい」と闘志を燃やす。十両を見据え、今日も鉄砲柱に向かって左右の突っ張りを繰り返し、体に叩き込ませる。

【広告】

岩手県北バス

バス運転士になりませんか?

若手運転士 女性運転士 活躍中

岩手県北自動車株式会社 八幡平営業所
八幡平市大更18-88-99

バスのご利用承ります

お問い合わせ TEL.019-641-7772(本社)

■編集後記

▽空き家の記事を担当しました。他人事ではないこの問題。「一度空き家について考え、話し合い、行動に移しましょう。」と自分で書いた文章に「ウチもな」と自分でツッコミを入れて悲しくなりました。同じ悩みを抱える人が、記事を読んで行動するきっかけになってくれたらありがたいです。(多)

▽寺田小田植え体験の取材に行ってきました。本職の新聞記者さんと一緒に長靴で田んぼに入りましたが、ふと気づいたら記者さんは裸足になっていて、素早く移動しながら撮影していました。勝ち負けなんて無いです。無いんですが、なぜか負けた気がしました。(吾)

※広報はちまんたい7月9日号(Na301)の印刷経費は1部71.5円、発行部数は10,080部です。経費の一部は広告料で賄われています。広告掲載については、(株)総合広告社(☎019-626-3370)まで。

